

2013年10月2日

## 「2013年日経地球環境技術賞」を受賞しました

環境都市工学科・特命教授 青井 透

環境都市工学科青井研究室では、高専内ため池「西湖」の環境保全に長年取り組んで来ました。毎年わたる卒研学生の泥まみれの努力と地域を巻き込んだ協働作業の結果、誰も見向きもしなかつた西湖の環境は大幅に改善され、前橋高崎両市で最も多くの野鳥(75種類以上、宮越先生による)が観察される里池として、本高専50周年記念行事の一つにも取り上げられました。

これらの進展の結果、2012年6月26日には日本水大賞・未来開拓賞を宇宙飛行士毛利さんから受領したのですが、この度は日本経済新聞の日経地球環境技術賞を受賞することになりました。10月17日に日経新聞で発表され、11月7日には日経本社で表彰式が行われる予定となっております。この賞は日本を代表する最先端企業が毎年受賞しており、高専が受賞するのは非常に珍しい例と思われます。

環境都市工学科の地道な努力に、名誉あるこの賞を頂けることを、C科卒業生・在校生ともに喜びたいと思います。下の写真は受賞前に実施した国宝松本城と同じく国宝善光寺での浚渫作業の写真です。

本受賞ではずみがつき、群馬高専生まれの底泥資源化工法は、より広く普及すると思われます。長野県第一・第二の観光地で、群馬高専開発技術が活躍していることは凄いことだと思いませんか。

善光寺大勧進での浚渫(2013. 9/4~10/7)



松本城内堀での浚渫(2013. 7/16~8/30)

